



環境活動データ

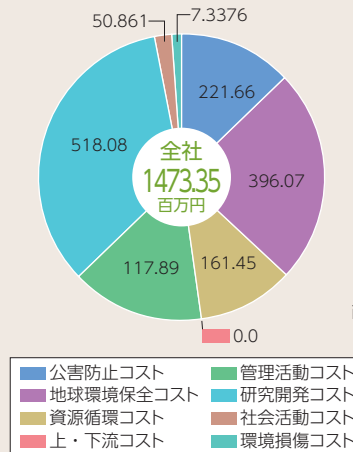
環境会計

2010年度の環境会計結果

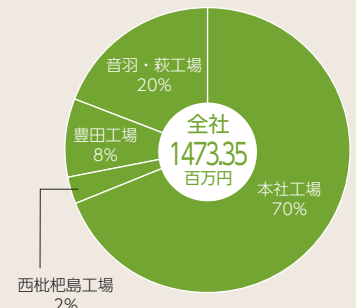
2010年度の環境保全コストは14億7,335万円(売上高の0.6%、前年度比7.3%減)でした。内訳としては、設備投資額は1億3,840万円、経費は13億3,490万円となりました。

厚生施設建設に伴う公害防止設備への投資により、設備投資は前年度比13%の増加となりました。経費については、全体としては前年度比9%減となりました。

コスト内訳(百万円)



工場別環境コスト内訳



(百万円)

項目	主な取り組み内容	投資額	経費
1)事業エリア内コスト	公害防止 公害(大気、水質、騒音等)防止に要した投資および経費	5.3	216.3
	地球環境保全 温暖化防止に要した投資および経費	75.7	320.4
	資源循環 廃棄物処理、廃棄物減量化、リサイクル化に要した投資および経費	8.5	152.9
2)上・下流コスト	環境負荷の少ない製品、燃料および原材料等の購入に伴い発生した差額	0.0	0.0
3)管理活動コスト	環境マネジメントシステムの構築・運用、環境負荷の監視・測定に要した投資および経費	0.0	117.9
4)研究開発コスト	環境保全に資する製品等の研究開発に要した投資および費用	24.4	493.7
5)社会活動コスト	自然保護・緑化・美化等の環境改善対策等に要した費用	24.5	26.4
6)環境損傷コスト	環境汚染の修復費用、環境損傷の保険料等	0.0	7.3
	小計	138.4	1,334.9
	合計	1,473.3	

環境会計効果の分析

環境保全対策による経済効果額は前年度比27%減となりました。売上の減少により効果額は前年度比で悪化していますが、リサイクル材売却額の効果額は増加しました。

環境保全対策に伴う経済効果

効果の内容	物量	効果額(百万円)
リサイクル材売却額(鉄、非鉄、プラスチック、油等)	12,059t	1,137.0
省エネルギーによる効果(前年比)	-3,772t-CO ₂	-156.2
廃棄物処理等の低減(前年比)	47.62t	1.42
合計	—	982.2

※環境保全対策に伴う経済効果は金額効果と物量効果で調査(調査期間…2009年4月～2010年3月)

環境会計の考え方

環境コストは発生したときの支払ベースで把握・集計しています。したがって、設備投資は投資額として把握し、減価償却費は計上していません。環境以外の目的と併せて実施しているものについては、按分により計上しました。環境保全活動に伴う経済効果については、各年度に費用低減額が確実に把握できる3項目で集計しました。

※省エネルギーの効果額は前年度の比較で原単位に基づく改善量を計上しました。

※各数値は四捨五入のため、個々に足した値と合計額が異なる場合があります。